

# 国宝・通潤橋 その歴史と魅力

～近世のめがね橋の到達点を示す傑作～

○日時：3月3日(日)

10:00～11:30

(開場9:30)

参加無料

○定員：100人(先着順)

○締切：2月末日

(※ただし定員になり次第、締め切ります)

○会場：くまもと県民交流館パレア

9階・会議室1

(熊本市中央区手取本町8-9)

○申込方法

必要事項をご記入の上、メールもしくは  
TEL・FAX・はがきでご応募ください。

〔必須事項〕

・氏名(ふりがな) ・年齢 ・住所  
・電話番号 ・(任意)メールアドレス

○申込先

熊本県生涯学習推進センター

〒860-8554 熊本市中央区手取本町8-9

TEL：096(355)4312 (平日9時～17時)

FAX：096(355)4318

Mail：manabi@k-parea.net

講師 上塚 寿朗 氏  
八代市東陽石匠館 館長

日本の石橋を守る会理事で、テレビ出演や講演会など機会をとらえて石橋の魅力を広く紹介。著書「熊本の目鑑橋(めがねばし)345」は父・上塚尚孝氏との共著。



講師から

令和5年(2023年)9月25日に、山都町の「通潤橋」が正式に国宝に指定されました。「橋」として初めて国宝となり大変貴重なものと言えます。また土木構造物としても日本初の国宝です。このことを祝し、どのような歴史で通潤橋ができたかについてお話しします。

長崎に伝わっためがね橋の技術は種山(現在の八代市東陽町)の地に伝わり、当時の最高の技術者たちが生まれました。彼らがどのようにして通潤橋をつくるに至ったか、どのような経緯で生まれ、水不足だった大地を潤し国宝になったかについてお話しします。

きりとり

令和5年度 パレアの日 記念講演会 3/3「国宝・通潤橋 その歴史と魅力」申込用紙

氏名(ふりがな)

〒

ご住所

年齢

お電話(日中に連絡がつく番号)

メール(任意)